

# 文化芸大生 久留女木の米 限定販売

## 棚田の恵み 味わって

静岡文化芸術大の学生有志団体「引佐耕作隊」が15～26日、浜松市浜名区引佐町の久留女木の棚田で育てた米「久留女木 棚田の恵」（品種・にこまる）を中央区中央の大学生協などで販売する。11日には大学で試食会を開いた。

（東田茉莉瑛）

2016年から久留女木の棚田で米づくりに取り組み、今季は同隊の15人が480平方メートルの田んぼで田おこしから挑戦し、175・6キを収穫した。モグラに穴を掘られ、水が抜けてしまつたなどのトラブルもあったが、粒張りの良い米が出来上がったという。1袋300円で税込み500円。パッケージはデザイン学科の学生が手がけた。棚田から享受できる恵みについて書かれたタグが結ばれ、裏には食べた人が感想を送るためのQRコードもある。同隊代



販売する米「久留女木 棚田の恵」を紹介する学生ら＝浜松市中央区中央の静岡文化芸術大で

### 田おこしから挑戦／パッケージに豆知識も

表の3年生植田勝也さん(21)は「棚田には土砂崩れを防止、生物のすみかになるなど良い部分がたくさんあることを知ってもらえたら」と話した。

試食会では炊きたてをメンバーで味わった。今年初めて米づくりに参加した1年生の田口萌衣さん(19)と原理純さん(19)は「甘くておいしい。苦労して作ったかいがあつた」と笑顔で声をそろえた。

「久留女木 棚田の恵」はメール＝tanadanomegum\_linasa@yahoo.co.jpでも注文できる。



米袋に結ばれたタグには、棚田から享受している恵みについて書かれている